



平成 28 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 毅
(J A S D A Q ・ コード 7746)
問合せ先 財務部長 風間 卓
電 話 04-7137-3111

営業外収益及び営業外費用の発生、平成 29 年 3 月期第 2 四半期業績予想と
実績値との差異並びに通期予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、営業外収益及び営業外費用を計上するとともに、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想につきましても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の発生

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において助成金収入 32 百万円を営業外収益に計上いたしました。新潟県柏崎市に立地する子会社の新潟岡本硝子株式会社での原子力発電施設周辺地域企業立地支援給付金などによるものです。

2. 営業外費用の発生

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において当社の持分法適用関連会社である JAPAN 3D DEVICES 株式会社に対する投資持分につき 29 百万円の営業外費用(持分法による投資損失)を計上いたしました。

3. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,687	百万円 17	百万円 2	百万円 △50	円 銭 △2.64
実 績 値 (B)	2,601	24	△47	△102	△5.43
増 減 額 (B-A)	△86	7	△49	△52	
増 減 率 (%)	△3.2	41.2	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	2,878	41	18	22	1.43

差異の理由

炉修のためガラス熔融炉を停止したことによる固定費の削減と設備稼働率の向上によるコスト削減が想定よりも進んだため、営業利益は予想を 7 百万円上回りました。

当第2四半期累計期間の米ドルの平均為替レートは105.26円、当第2四半期累計期間末の米ドル為替レートは101.12円となり、前連結会計年度末の米ドル為替レート112.69円より円高が進んだことから、輸出に伴う米ドル建て債権の決済及び四半期末時点の為替相場による評価替などで為替差損45百万円が発生いたしました。こうした為替差損の発生などにより経常利益は予想を49百万円下回り、親会社株主に帰属する四半期純利益は52百万円下回りました。

4. 平成29年3月期通期連結業績予想の修正

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,803	百万円 160	百万円 116	百万円 54	円 銭 2.85
今回予想 (B)	5,581	138	27	6	0.32
増減額 (B-A)	△222	△22	△89	△48	
増減率 (%)	△3.8	△13.8	△76.7	△88.9	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	5,341	△50	△102	△103	△5.97

修正の理由

フリット(ガラス粉末)などの新事業は、売上高が増加しているものの、計画で織り込んだ水準には届かない状況のため、売上高は計画比222百万円減収の5,581百万円となる見込みです。

通期業績への為替影響は、既に第2四半期累計期間で計上された金額のみとし、第3四半期以後に新たに発生することは見込んでおりません。

第3四半期でのJAPAN 3D DEVICES株式会社の第三者割当増資による持分変動利益52百万円の発生、法人税、住民税及び事業税の減少などにより親会社株主に帰属する当期純利益は48百万円減益の6百万円となる見込みです。

以上